

2023年1月12日

報道関係各位

丸紅アーキログ株式会社

業界全体で建材選定プロセスのDX化を加速 ～日本建築材料協会と業務提携を締結 会員各社の製品情報登録を拡充～

建築・建設業界のデジタルトランスフォーメーション（DX）に挑戦する丸紅アーキログ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：三川 亮、以下：当社）は、当社の運営する建築建材の総合検索プラットフォーム「Arch-LOG（アーキログ）」の活用について、新しい時代の建材の開発・啓蒙・普及に努める**一般社団法人日本建築材料協会**（本部：大阪府大阪市西区、会長：松本 将、以下：日本建築材料協会）との業務提携契約を締結いたしました。

働き方改革の進展や、新型コロナウイルスの感染拡大に伴うリモートワークの急速な普及などを背景に、建材業界においても業務のデジタル化への対応が急務となっています。今回の業務提携は、そうした現状に鑑み、業界全体として建材選定プロセスのデジタル化を図ることを主な目的としています。日本建築材料協会の200社を超える会員各社に「Arch-LOG」への建材情報登録をより一層進めていただくことで、より多くの建材が適切に選定されることを後押しするだけでなく、建材選択から資料手配、リアルボードの作成、関係者間での情報共有、客先への提案といった建材選定の一連のプロセスが「Arch-LOG」により全てデジタルで出来る様になり、建材業界にも大きなメリットがもたらされることが期待されます。

建築・建設業界および建材業界のDXを実現するため、「Arch-LOG」は運用開始時から登録建材の拡充と新機能の開発を続けており、業界への普及が進んでいます。ユーザーは、「Arch-LOG」に登録されている200万点近い建材の中から、例えばガラス、石材、防水材といったカテゴリーや、特定のメーカー名、キーワードなどで必要なものを検索することができます。複数メーカーの製品を比較しながら選定することも可能で、従来のように膨大なカタログの中から手作業で商品を探し出す必要もなく、異なるメーカーのサンプルを1クリックで請求することができます。また、直感的で自由度の高いデジタルリアルボードがWEBベースで作成できるほか、プロジェクトごとに正確な情報共有と合意形成が可能となるため、作業時間の大幅短縮による生産性の向上に貢献します。

今後、「Arch-LOG」は、さらなる新機能の実装に向けた準備も進めており、建築・建設業界と建材業界に関わる全ての関係者が利用できるDX化ツールとして、また、紙カタログの廃止や脱モデルルームなどによるCO2の削減に貢献するデジタルツールとして、導入拡大に向けて注力してまいります。

一般社団法人日本建築材料協会

一般社団法人日本建築材料協会は、国土交通省・経済産業省の認可による全国規模の建材業界の総合団体です。昭和9年6月発足と歴史は古く、建材製造会社・販売会社・施工会社等あらゆる建材関係会社を会員とし、本部を大阪に、関東・中部・中国・四国・九州に支部を置き、機能性、経済性、均質性、無害性などの工業的特性と、個性・造形・感動・愛着などの工芸的特性の両面に目を配った、新しい時代の建材の開発・啓蒙・普及に努めています。

■事業内容：①建築材料の調査研究 ②建築及び建築材料に関する施工方法の調査研究 ③建築及び建築材料関係団体との交流と情報交換 ④見学会、講習会の開催、その他建築材料に関する知識の普及 ⑤建築材料に関する相談、展示会の開催、その他建築材料に関する啓蒙宣伝 ⑥会報、雑誌、図書及び印刷物の刊行並びに頒布 ⑦その他本会の目的を達するに必要な事項――

<丸紅アーキログ株式会社 会社概要>

代 表 者 三川 亮 (代表取締役社長)

所 在 地 〒105-0023 東京都港区芝浦 1-3-3 浜松町ライズスクエア 2 階

設 立 2019 年 6 月 27 日

事業内容 建設業界向けデジタルデータプラットフォーム「Arch-LOG」の運営 <https://www.arch-log.com/>

建築建材の“価値”と“想い”をストーリーで語る WEB メディア「Arch-MATERIA」の運営 <https://arch-materia.com/>

U R L <https://m-arch-log.com/>

<本件に関するお問い合わせ>

広報担当：梁瀬

TEL : 03-6381-7270 E-mail : hideyuki.yanase@m-arch-log.com